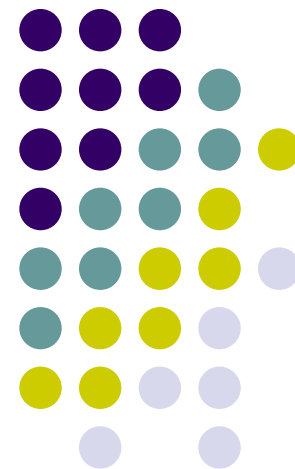


仙台市における 学校評価の現状と課題

- 新しい評価システムへの移行 -

仙台市教育委員会 三塚 修





これまでの学校評価の取組み

- 平成14年度 仙台市管理規則の改正
→ 自己評価の実施・保護者への説明を義務化
- 平成20年度 仙台市学校評価ガイドライン
『全方位型の学校評価』
→ 全82の点検項目+学校独自の項目
→ 設置者への報告8月末
- 平成22年度 仙台市学校評価ガイドライン
『協働型学校評価』
→ 学校・保護者・地域の三者協働による学校評価

全方位型学校評価の取組み



■ 評価項目・評価指標

| | 評価項目 | 下位評価項目 【仙台市の枠組】 | 評価指標 |
|------------------------------|-----------------------|---|--|
| 1 | 教育課程 ・ 学習 指導 | 1-1 指導目標、指導計画、授業時数等の教育課程の編成・実施状況 | ① 児童生徒や保護者、地域の実態を踏まえ、学校としての教育目標が設定されているか。 ② 教育目標は学年・学級の目標、諸計画に具体化され、実践されているか。 ③ 教科等の必要時数は確保されたか。 |
| 1-2 児童生徒の観点別学習状況の評価を踏まえた取組状況 | | ① 教科等について、観点別学習状況の評価規準を作成し、評価しているか。 ② 観点別学習状況の評価結果について検討し、学習指導の工夫・改善を図っているか。 | |
| 1-3 学力調査、運動や体力に関する調査結果を踏まえ | | ① 学力調査の結果を踏まえ、教科等において学力向上のための工夫・改善を図っている | |

全方位型学校評価の取組み



■ 評価計画

平成20年度 学校評価・実施計画書

| 月 | 校内の実施概要 | 自己評価 | 他者評価 | 保護者等への公表〔公表方法〕 |
|----|---------------------------------|---|------------------------------|------------------------------|
| 4 | ○校内評価委員会の説明 (年間の見通しと検討) | | | ○PTA総会で、結果についての考察・説明(H19年度分) |
| 5 | | | ○委員の選出と依頼 H19年度の結果と改善策の説明 | |
| 6 | | | | |
| 7 | ○職員会による評価の説明 | ○中間自己評価の実施 (教職員対象) | | |
| 8 | ○第1回校内評価委員会 ○市教委への報告書等の作成・提出 | ○中間自己評価の結果の分析と 改善策の策定 | | |
| 9 | | | ○委員会開催 (中間自己評価の検証) | |
| 10 | ○第2回校内評価委員会 (自己評価アンケートの作成) | | | |
| 11 | | ○保護者アンケートの実施 ○教職員による自己評価 ○高学年児童アンケートの実施 | ○委員会開催 (自己評価結果を検証) | ○アンケートの実施の事前 依頼について |
| 12 | | ○教職員による学校運営評価 | | |
| 1 | ○第3回校内評価委員会 | | ○委員会開催 (結果と改善策について) | ○学校だより・HPによる公 表(結果・考察) |
| 2 | | | | ○学校メールによる公表へ の意見提出 |
| 3 | | | | ○授業参観等による公表の 補足 |

全方位型学校評価の取組み



■ 設置者への報告(8月末)

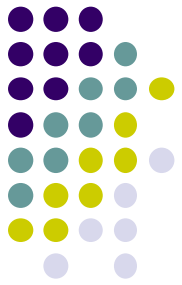
平成20年度 学校改善・支援シート〔報告〕

【 1 】

※ IVは、実施校のみが記載

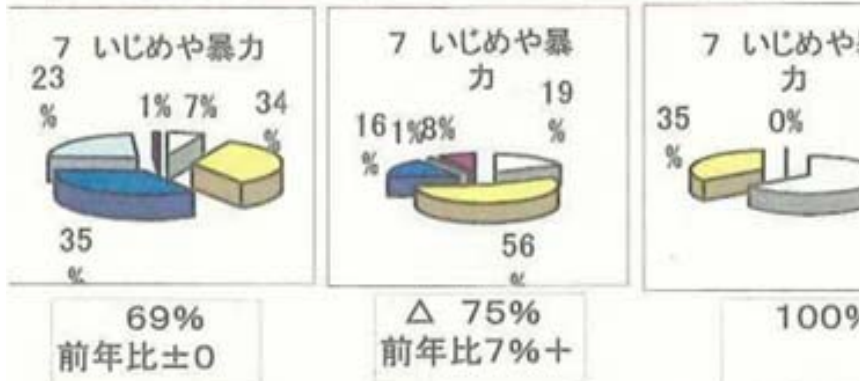
| 評価項目 | | 報告内容 | | I | II | III | IV | V |
|------|-----------|------|----|--------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|------------------|
| NO | 評価項目 | 下位 | 指標 | 自己評価の結果と分析 | 他者評価の結果と分析 | 改善策 | 年度途中の自己評価・他者評価の結果 | 改善策の進捗状況 |
| 1 | 教育課程・学習指導 | 1-1 | ① | 概ね、教育目標は妥当である。 | 理解大 | あらゆる機会での啓発と情報発信 | | 4つのプランの推進 |
| | | | ③ | クラブ活動の実質的な時数確保の必要 | 他校に比べて少ないのでは。 | 60分の活動時間と実質的な時間増 | まだ開始時刻には間に合わない。 | 開始時刻を意識して学級指導を。 |
| | | 1-3 | ① | 学力調査の期待正答率の落ちに対する具体的な要取組 | | 学力向上9つのプランの作成 | | 学力向上プランを推進中 |
| | | 1-5 | ① | 少人数指導・教科担任制による指導成果の期待大 | 少人数指導の在り方の理解不足 | 学年毎に手立てや情報の繰り返し発信 | | 学年会での啓発や授業参観での取組 |
| 2 | 生徒指導 | 2-1 | ③ | 複数対応による指導の効果 | | 交換授業と学年体制による指導 | | 全児童に対して共通な指導推進 |
| | | 2-3 | ① | 事あるごとに速やかな対応がとれた。 | 気付かないいじめに対する更なる努力を | 早め早めの状況把握努力と対応 | | 情報の共有化と迅速な対応化 |
| | | 2-4 | ① | 校内での挨拶は概ね良好 | 来校時の挨拶はあまりされない。 | 年間を通した挨拶の励行 | 乱暴な言葉遣いは学年が進むと見られる。 | 来校者の挨拶の評価の概ね良好。 |
| | | | | | | | | |

全方位型学校評価の取組み



■ 外部評価の結果

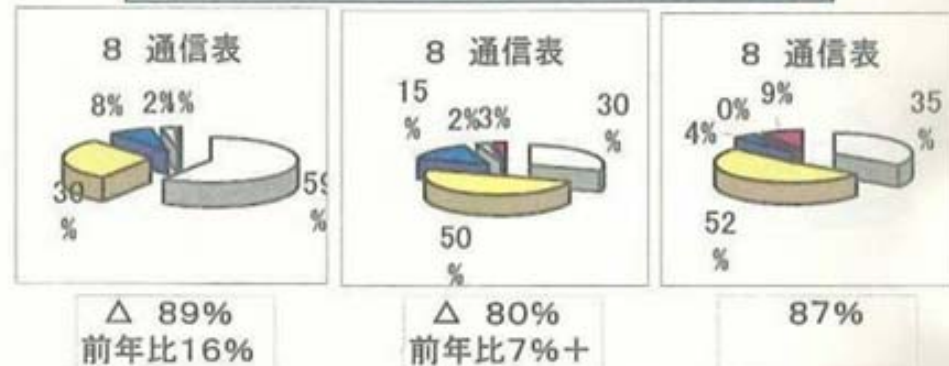
7 いじめや暴力のない学校づくりの取組み



いじめられたという話は聞いたりするので、先生が気付かないでやっていることがある。もう少し一人一人を見て欲しい。

・市の「いじめ調査」のデータからは昨年よりいじめの実態が少なくなりましたが、日常的にいじめ対策には取り組んできました。常から、いじめは人間として許されない行動であることを子供たちに指導しておりますが、教職員全員が目で見守りながら子供たちの言動を観察したりしていじめの兆候を探っております。保健室や地域からの情報も大切にしております。なお、知らないところでいじめが進行している場合もありますので、お子さんの言動に不自然さを感じましたら早急に相談してください。

8 子供の成長が分かる通信表の工夫



通信表はもう少し踏み込んだ評価をしてもらってもいいと思います。(良いところを重点的に評価してもらうのはありがたいのですが、知りたいのは改善すべきところです)

・学校の通信票は、子供一人一人の良い点やよさを見出し、それを認めていくことで、これからの学校生活や学習により積極的に取り組むようにすることをねらいとしています。もちろん、一人一人には課題もあると思いますので、指摘しながら励まし指導していきたいと考えております。それに関しては、個別面談の機会等で担任と連絡をとりながら子供

説明のためのデータ処理・考察, 体裁

設置者としての学校運営の状況把握, 指導・支援システム



5月 : 教育課程ヒアリング事前調査表(回答80項目), 学校経営要録, 教育計画等を市教委へ提出

5月末: 教育課程ヒアリング(教頭・教務主任)

6月~: 教育課程訪問

: 授業づくり訪問

8月 : 校長人事ヒアリング

8月末: 学校評価の設置者への報告



- ・指導主事派遣, ・加配教員, 指導補助員等の配置
- ・自主公開, ・モデル事業など (各担当課対応)

全方位型学校評価の課題



- 各校の取組状況から

1 学校間の取組の差異

(背景)

- 直面する学校課題(生徒指導の問題等)
- 地域性(保護者や地域住民の意識)
- 学校規模(児童数・生徒数)
- 校種の違い(保護者の年齢層, 学校への期待)

全方位型学校評価の課題



- 各校の取組状況から

2 教師の捉え・意識

- 各評価項目のクリアすること＝学校評価
→学校としての体裁を整える
→データ処理, 資料準備に追われる
- 管理職と個々の教師の意識の差

3 具体が見えない改善策

- 「〇〇を検討する」「〇〇の意識化を図る」
→『何を, いつまで, どの程度』が明確でない



全方位型学校評価の課題

学校改善・支援シート〔報告〕

4 「おおむね達成」

| 評価項目 | | 報告内容 | | | 他考 析 | 已評 結果 | 改善策の進捗状況 |
|------|---------------|------|--------|---|--|----------------|----------|
| NO | 評価項目 | 下位 | 指標 | I | | | |
| 1 | 教育課程・ 学習指導 | 1-1 | ① ② | <p>○児童や地域の実態を踏まえ教育目標を設定すると共にPTA 総会等で知らせたことが概ね達成できたという評価に表れた。</p> <p>○教育目標を踏まえ、学年・学級の目標設定を行った。</p> | <p>自己評価の結果と分析</p> <p>○児童や地域の実態を踏まえ教育目標を設定すると共にPTA 総会等で知らせたことが概ね達成できたという評価に表れた。</p> | ※ IVは、実施校のみが記載 | V |
| | | 1-4 | ① | <p>教科の指導時数の確認が時数確保につながった。</p> <p>○ワークシート に標 価・理解・感想等の自己評</p> | <p>指導・実践に取り組んだので概ね達成できたという評価となつて表れた。</p> | | |

・チェック項目はクリアー

・保護者，関係者評価委員のプラスの評価

学校評価＝作業に？
新たな取組が生まれにくい？

新しい学校評価システムの策定



● 基本コンセプト

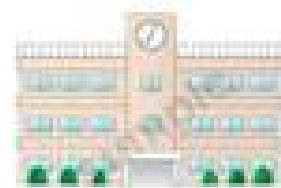
- 1 評価から改善活動へ（P-D-C-Aサイクルの確立）
 - ・児童生徒の成長を支え、よりよい姿を実現する
- 2 学校・保護者・地域，三者の協働で
 - ・「地域とともに歩む学校」（仙台市学校づくりの推進基盤）のもと，三者が協力・協働して子どもをよりよく育成する



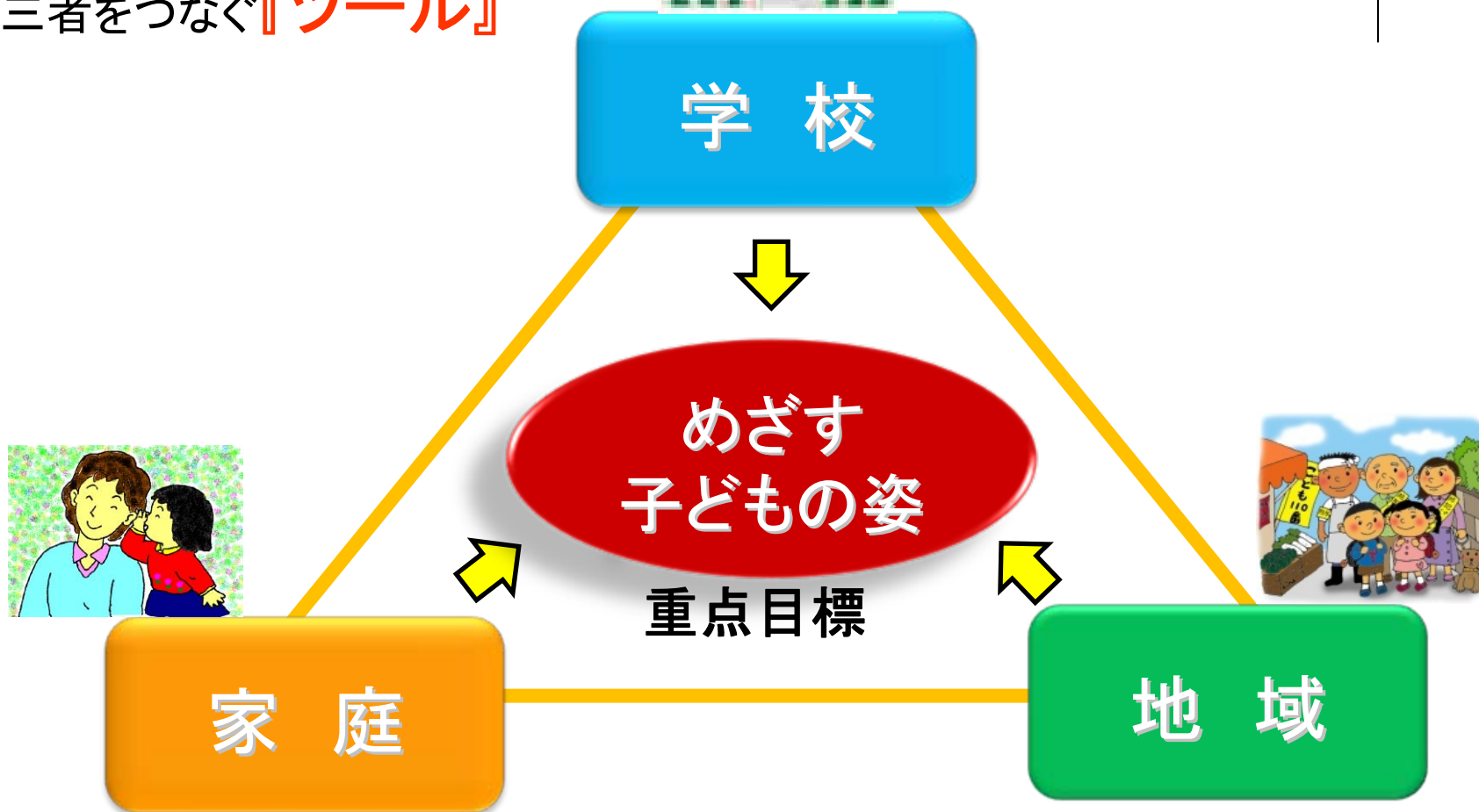
学校評価
「学校・家庭・地域をつなぐツール」

協働型学校評価

平成22年度より



三者をつなぐ『ツール』



地域とともに歩む学校

協働型学校評価



■ 1 『児童生徒の現状と課題の把握』

- ・今学校が抱える子供たちの課題は？
- ・どんな子供の姿を目指すか？
- ・優先順位は？



前年度の自己評価・外部アンケート
前年度の学校関係者評価結果

教職員による情報交換・話し合い

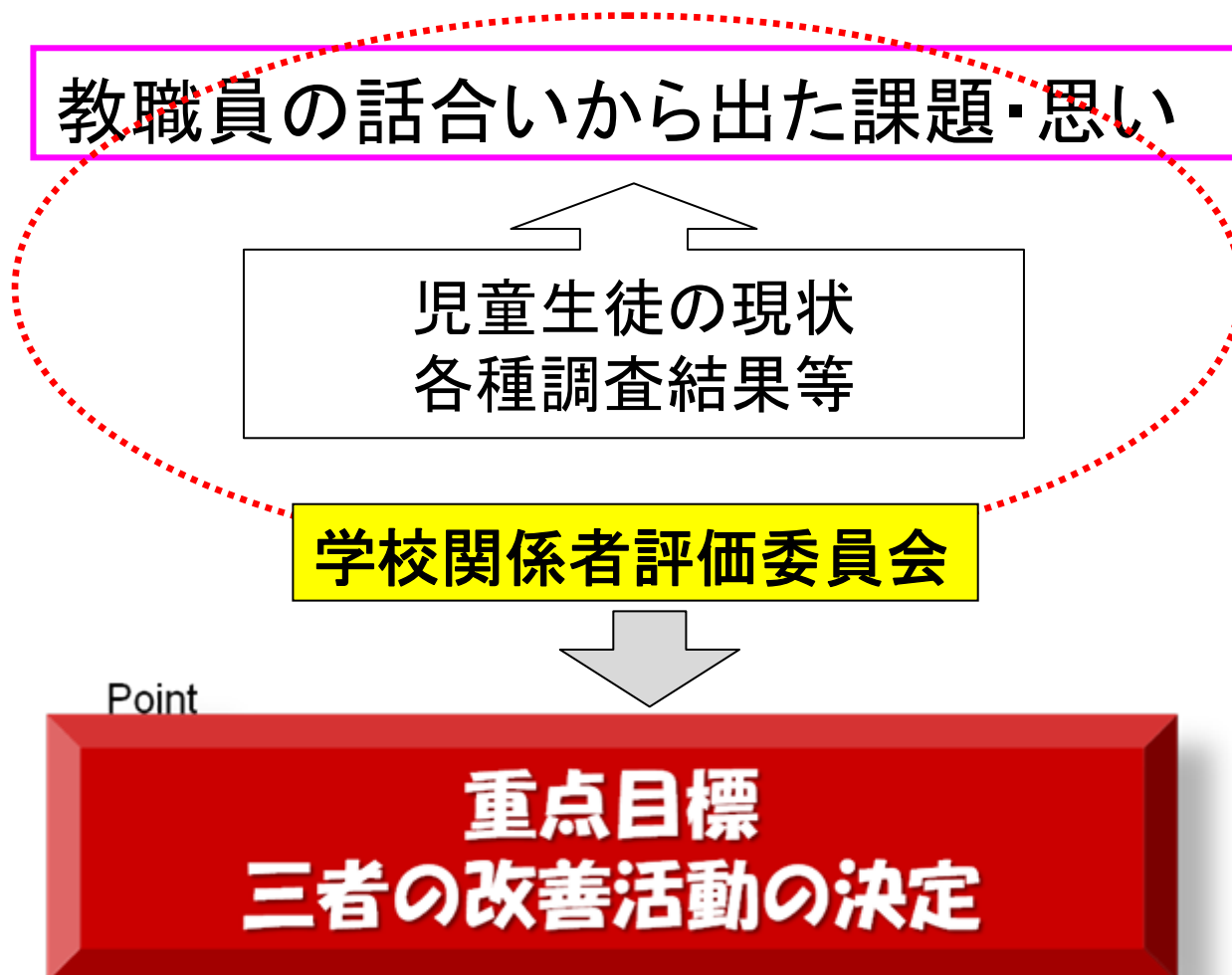
Point

課題の顕在化・共有化

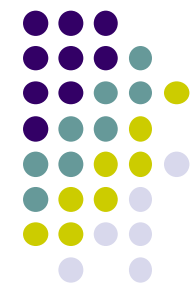
協働型学校評価



■ 2 三者による児童生徒の現状と課題の共有

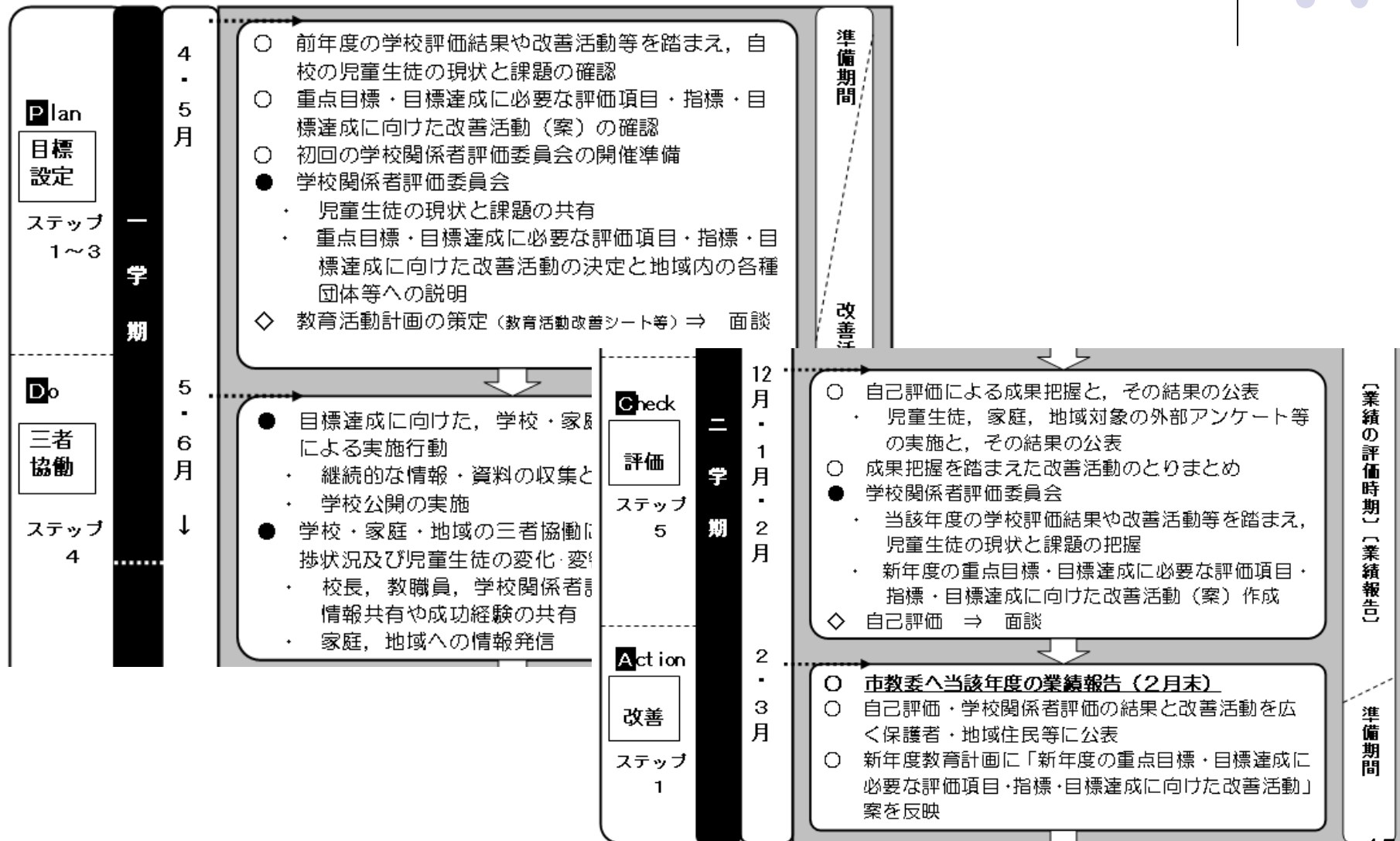


協働型学校評価 P-D-C-A 年間スケジュール



- の活動は学校と学校関係者評価委員会が活動の主体になります。
- の活動は、学校が活動の主体になります。
- ◇は、学校職員評価のスケジュールです。

(4) 協働型学校評価のスケジュール



〔業績の評価時期〕〔業績報告〕

準備期間

新システム移行の素地



- 地域人材の積極的活用

教育活動の支援等で継続的に学校にかかわった方
(年間10日以上) <H23ヒアリング資料>

| | 小学校 | 中学校 |
|----------------|-----|-----|
| ア) 25人以下 | 28 | 39 |
| イ) 26人以上50人以下 | 36 | 17 |
| ウ) 50人以上100人以下 | 33 | 5 |
| エ) 101人以上 | 26 | 3 |

新システム移行の素地



| ● 地域住民に支援された教育活動<H23ヒアリング資料> | 小学校 | 中学校 |
|------------------------------|-----|-----|
| (1)登下校の見守り | 122 | 60 |
| (2)教科の授業(学習支援や採点補助等) | 89 | 21 |
| (3)図書事務補助や読み聞かせ | 111 | 9 |
| (4)保健室での補助 | 25 | 6 |
| (5)給食指導補助 | 69 | 6 |
| (6)生活指導や教育相談の補助 | 64 | 17 |
| (7)総合的な学習の時間や特別活動, 道徳の補助 | 119 | 42 |
| (8)職場見学や職場体験 | 59 | 58 |
| (9)放課後活動(部活動補助) | 31 | 49 |
| (10)学校設備の補修や花壇・植木の整備 | 79 | 35 |
| (11)その他 | 27 | 15 |

・校外学習引率補助, ・除草作業, 清掃活動, 除雪 ・体育祭や学芸会の指導, ・書きぞめの指導
 ・放課後子ども教室, ・学校の田, 畑の管理 ・有害ポスターはがし, ・夜間の巡視活動

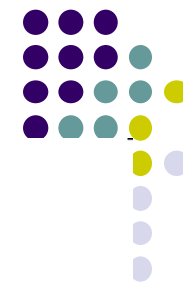


より実効性を高めるために

● 『教育活動改善シート』とのリンク

平成 年度 教育活動改善シート

| 氏名 | 年齢 | 歳 | 勤務歴 | 現任校 | 年 | 校務分掌 | 所属 | 仙台市立 | |
|-------------------------|---|---|-----|----------------|---|------|---------|------|--|
| | | | | 通算 | 年 | | | | |
| 今年度課題解決を目指す協働型学校評価の重点目標 | | | | | | | 学校重点目標 | | |
| 項目 | 教育活動計画（目標・目標達成のための手立て） | | | 自己評価（過程・実績・意欲） | | | 継続課題（次年 | | |
| 学協 校働 評価 型 | <div data-bbox="956 835 1767 1013" data-label="Text" style="background-color: #90EE90; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>目標達成に向けた各自の 具体の取組・手立て</p> </div> | | | | | | | | |
| 学習 指導 | <div data-bbox="357 1035 1159 1163" data-label="Text" style="background-color: #FF69B4; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>校長・教頭との面談</p> </div> | | | | | | | | |
| 学 生 級 徒 | | | | | | | | | |



● 設置者への報告を簡素化

【様式2】学校評価の業績の報告

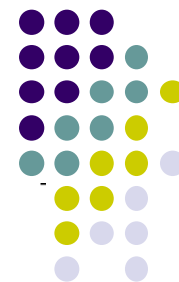
学校番号〔 〕 学校名〔仙台市立 学校〕 校長 印

1 重点目標等

| | |
|--|--|
| 児童生徒の現状 「児童生徒の現在の課題」 | |
| 複数年度にわたる究極目標(到達目標) 「一つの課題に対して目指すべき児童生徒の望ましい姿」 | |
| 当該年度の重点目標 「今年度達成したい児童生徒の姿」 | |
| 状況把握のためのデータなど〔例示〕アンケート調査結果, 職員からの報告, 評価委員からの評価結果 | |

2 協働型学校評価への移行状況 ⇒ あてはまる項目すべてに○を記入

- () 学校は, 学校関係者評価委員と共に, 重点目標・目標達成に必要な評価項目・指標・改善活動について検討した。
- () 学校は, 家庭・地域と協働して改善活動に取り組んだ。
- () 学校は, 学校関係者評価委員と共に, 業績評価に取り組んだ。
- () 三者協働の取組は実施していない。



● 設置者への報告を簡素化

3 学校関係者評価委員会の委員構成

4 今年度見られた児童生徒の変容

5 次年度に向けた課題

新システム移行に向けた働きかけ



- 研修会によるシステムの周知
 - 校長研修会, 教頭研修会
 - 新しい評価システムにかかわる教育フォーラムを開催
(教員, 保護者, 学校関係者評価委員が参加)
- 実地検証
 - 10数校をモニター校としてシステム検証, アドバイス
- 情報提供
 - リーフレット, ガイドライン追加資料
 - 各校の取組, 好事例の紹介
 - メールマガジン



まとめ

1 学校からの声

- 学校として、何を組織的に行うかがわかりやすい。
- 学校関係者評価委員会で焦点の絞れた話合い。
- 保護者の参画意識が高まってきた。

2 課題

- 学校関係者評価委員会の一層の充実
- 重点目標，三者の改善活動の設定
 - (成果が評価できる具体的な目標)
 - (中，長期ビジョンを視野に入れた目標)
- 当事者意識を高める工夫
- 小中の連携